

確固たる運用スタイルが収益機会に繋がる

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
愛称 ザ・ディスカバリー
追加型投信/内外/株式

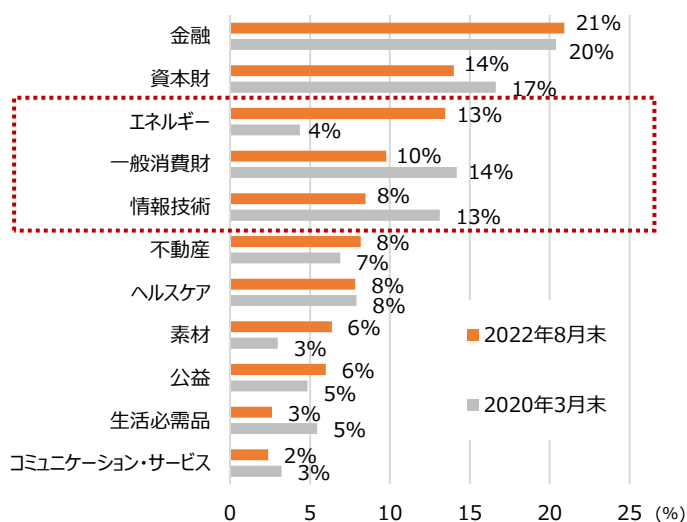
徹底した銘柄分析で大きな局面変化を収益機会に

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)(以下、当ファンド)が主要投資対象としている「フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」では、**市場の見誤りに着目し、本来の企業価値が過小評価されている企業を積極的に組み入れ、過大評価されている銘柄を回避する運用**を目指しており、この運用スタイルはセクター配分においても表れています。

新型コロナ・ショック直後の2020年3月末と2022年8月末時点の参考ファンド(*)におけるセクター配分を比べると、情報技術や一般消費財などのセクターの組入比率が減少し、**エネルギーセクターの組入比率が大幅に増加**しました。コロナ禍以降、株価バリュエーションの割高化が進んだ銘柄を多く含む情報技術や一般消費財には慎重な見方をする一方で、エネルギー株はコロナ禍開始直後の原油価格下落などを背景に大きく調整が進む中、コスト競争力の高い企業や強固な財務基盤を持つ企業を中心に組み入れを増やしました。

年初来のセクター別騰落率(S&P500ベース)に目を移すと、金利上昇やそれに伴う株価バリュエーション調整の動きを受けて、情報技術セクターや一般消費財セクターが軟調となる一方、エネルギーセクターは原油高の追い風もあり非常に堅調な推移となっています。徹底した銘柄分析を通じて市場の見誤りにいち早く気付くことで、大きな局面変化を収益機会に繋げることができると考えます。

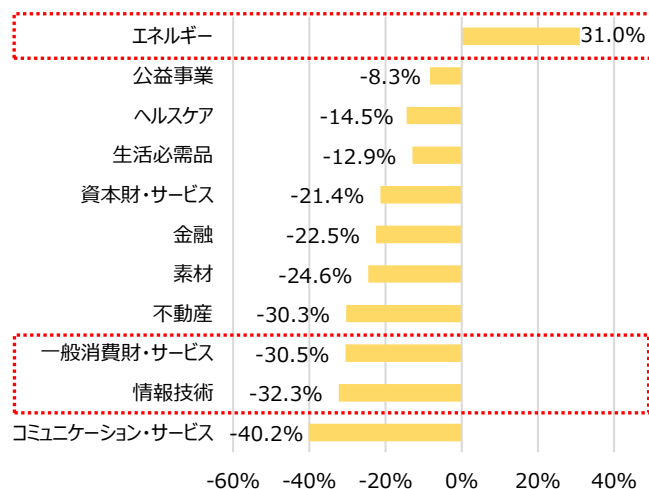
図表1. 参考ファンド(*) におけるセクター配分
(2020年3月末時点と2022年8月末時点)



※現金等を除いて算出。GICS基準(世界産業分類基準)による分類

(出所) フィデリティ投信の作成データ

図表2. 年初来のセクター別騰落率
(2021年12月末～2022年9月末、米ドルベース)



※セクターは、S&P500ベース、GICS基準(世界産業分類基準)で表示

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(*)「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」と同様の運用担当者・投資哲学・運用戦略に基づき運用されている米国籍投資信託「Fidelity® Mid-Cap Stock Fund」のデータです。日本では販売されておりません。参考情報として提供することのみを目的として掲載しており、「フィデリティ・グローバル・コア株式マザーファンド」のデータではありません。

—本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

不安定な相場環境下での注目銘柄【シェニール・エナジー】

エネルギー株の中での注目銘柄の一つが、シェニール・エナジーです。同社は世界最大規模の天然ガスプラットフォームを持つ企業で、米国における天然ガスの最大の生産者であり輸出業者です。同社の強みとして、**低コストで堅実な操業**を行っている点に加え、天然ガス契約の約85%が10年を超えるような長期契約となっており、**キャッシュフローの見通しが安定**している点があげられます。優れた経営陣が**配当・自社株買い・債務削減・新規インフラプロジェクトへの投資などに適切に収益を配分**している点も評価できます。不安定な相場環境だからこそ、徹底したボトム・アップ・リサーチに基づいて優れた銘柄を発掘することが肝要と考えます。

図表3. シェニール・エナジーの株価推移

(2022年1月3日～2022年10月19日、日次)



※写真はイメージです。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

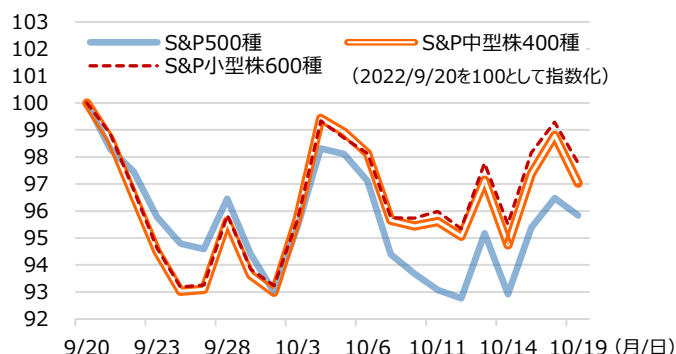
足元の投資環境

＜株式市場と為替市場の動き＞

10月の世界主要国の株式市場は一進一退の動きとなっています。特に当ファンドの主要投資先である米国株式市場では、米連邦準備制度理事会(FRB)がインフレ抑制に向けた利上げ継続姿勢をあらためて示したことを受けて、10月半ばにかけて値動きの荒い展開となっています。一方、為替市場(米ドル/円)は、日米金利差が拡大するとの見方を背景に、米ドル/円は水準を切り上げる動きとなりました。

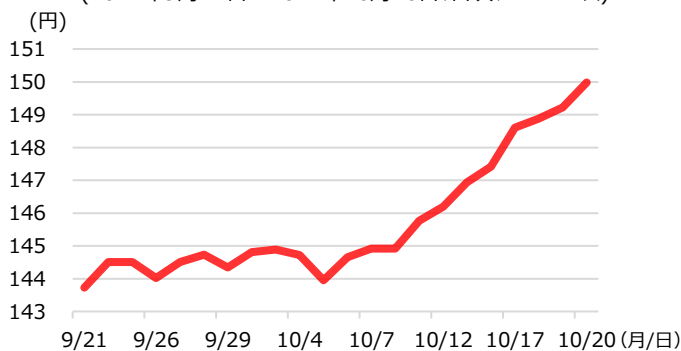
図表4. 米国主要株価指数の推移

(2022年9月20日～2022年10月19日、日次、米ドルベース)



図表5. 米ドル/円の推移

(2022年9月21日～2022年10月20日、日次、TTMベース)



(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

—本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
 ■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

当面の投資環境の見通し・運用方針

FRBが景気よりもインフレ抑制を優先する姿勢を明確化中、今後米国が穏やかな景気減速と落ち着いたインフレ水準に軟着陸できるのか、あるいは失業率の大幅な上昇を伴う厳しい景気後退に陥るのか、そうした予想は現時点では非常に難しく、不確実性が高い環境にあると考えています。

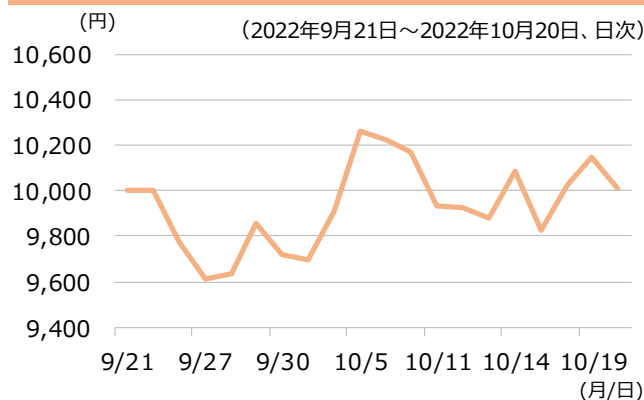
ただ、ファンドの運用においては、**足元のFRBの動きに一喜一憂することなく、徹底したボトム・アップ・リサーチに基づくファンダメンタルズ分析を重視して**銘柄選別を行います。多面的な調査・分析の結果、本来の企業価値と市場の見通しとの乖離が大きく、確信度の高い企業を選別して投資を行います。

運用状況（作成基準日 2022年10月20日）

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(愛称 ザ・ディスカバリー)の**基準価額は、為替ヘッジありが10,006円、為替ヘッジなしが10,330円**となっています。

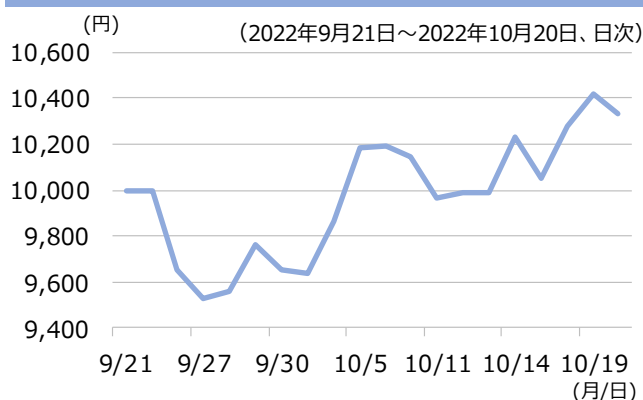
<為替ヘッジあり>

基準価額の推移



<為替ヘッジなし>

基準価額の推移



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額	10,006円
残存元本	1,143百万口
純資産総額	1,144百万円

ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	97.3%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	2.5%

ファンドデータ

基準価額	10,330円
残存元本	6,421百万口
純資産総額	6,633百万円

ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	96.7%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	3.1%

※上記の各構成比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(作成 : 運用本部)

—本資料に関してご留意いただきたい事項—

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。
 ■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンドに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「金利リスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。

※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
 - ：純資産総額×年率1.265%（税抜1.15%）
 - 運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
 - ：純資産総額×年率1.98%（税抜1.80%）程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし) 愛称 ザ・ディスカバリー
追加型投信/内外/株式

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。